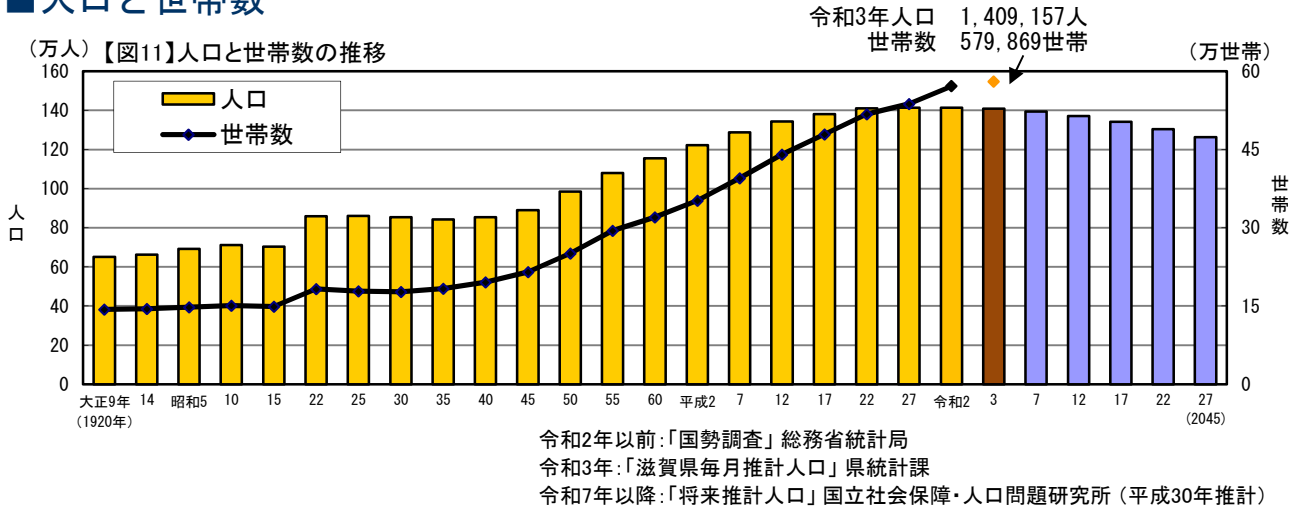


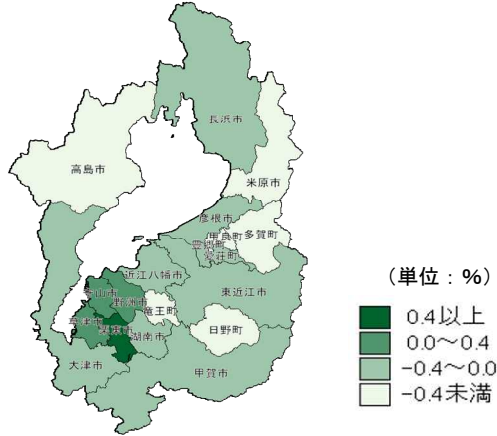
人口

人口と世帯数

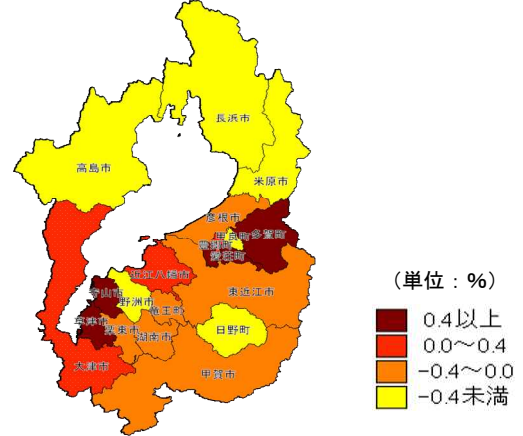


人口増減率

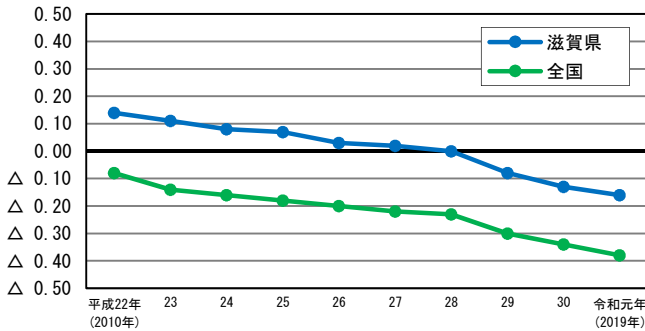
【図12】自然増減率
(令和元年10月1日～令和2年9月30日)



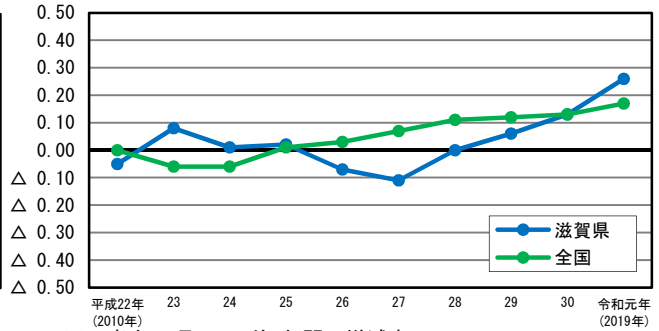
【図13】社会増減率
(令和元年10月1日～令和2年9月30日)



【図14】自然増減率の推移



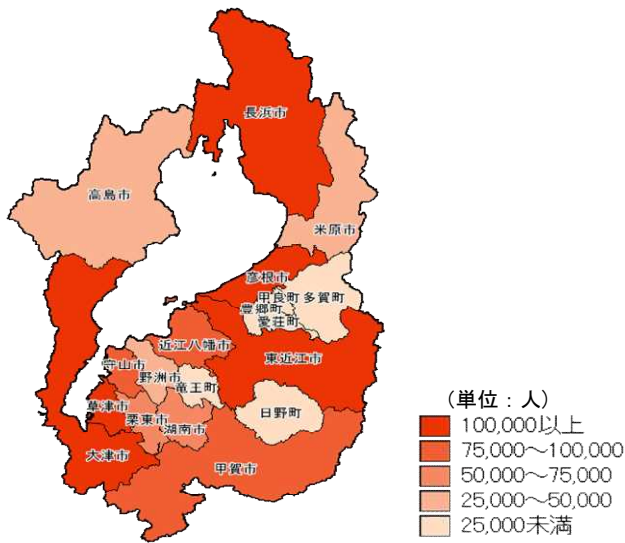
【図15】社会増減率の推移



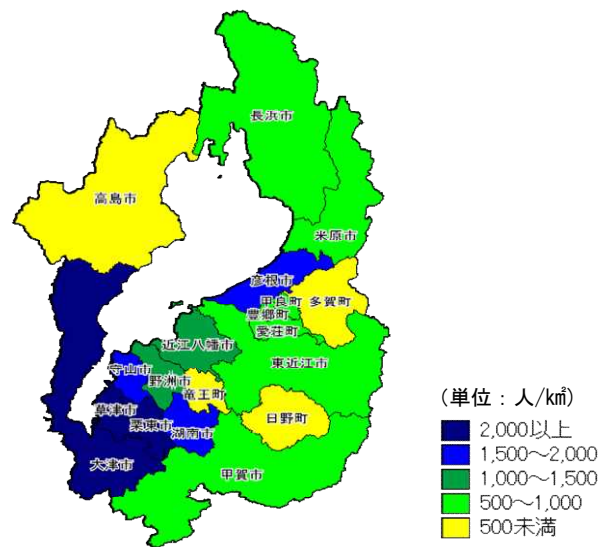
- ・令和3年10月1日現在の滋賀県推計人口は1,409,157人となり、令和2年国勢調査による人口と比べると、4,453人の減少となった。(図11)
- ・自然増減率が最も高いのは栗東市(0.53%)、最も低いのは甲良町(△0.95%)、社会増減率が最も高いのは草津市(0.69%)、最も低いのは甲良町(△0.84%)となっている。(図12)(図13)
- ・令和元年10月1日現在の総務省統計局人口推計では、滋賀県の人口増減率は0.11%で全国6位であった。自然増減率は△0.16%(全国4位)、社会増減率は0.26%(全国7位)であった。(図14)(図15)

■市町別人口と人口密度

【図16】市町の人口



【図17】可住地面積1km²当たりの人口密度



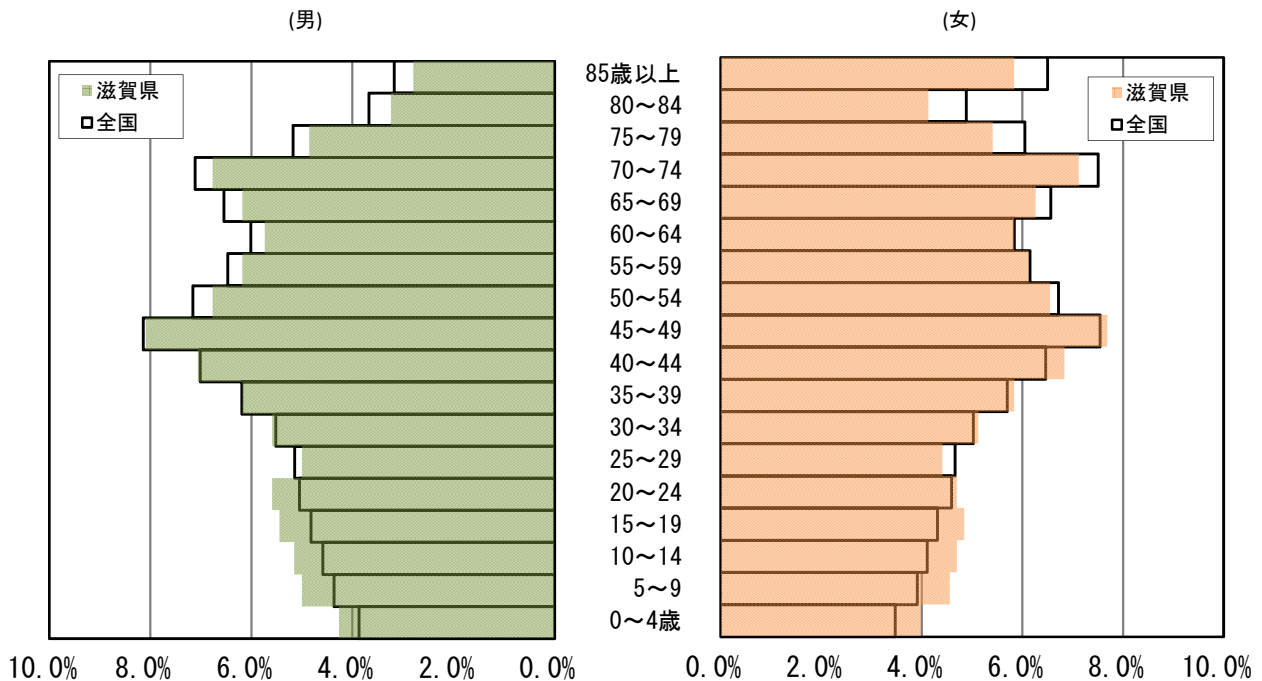
人口：「滋賀県毎月推計人口」県統計課（令和3年10月1日）

可住地面積：「統計でみる市区町村のすがた2021」総務省統計局（令和元年度）

■人口ピラミッド*1

*1 人口の男女、年齢構成を表すグラフ

【図18】男女別・5歳階級別人口の割合



「国勢調査」総務省統計局（令和2年10月1日現在）

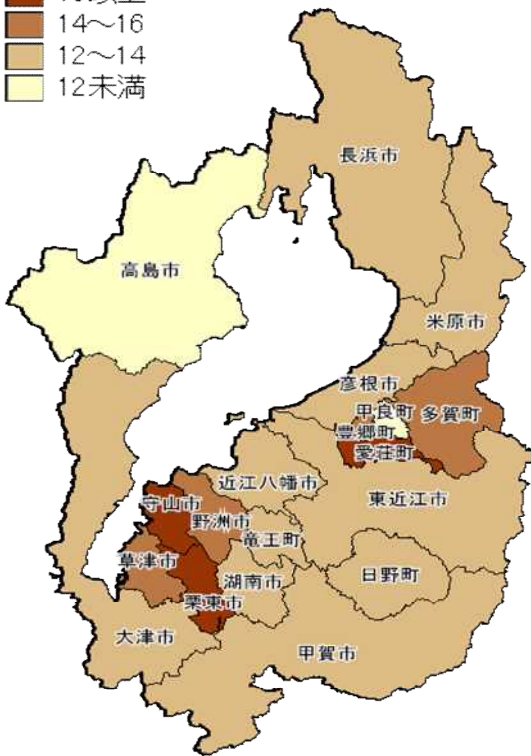
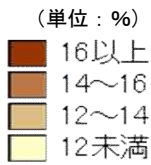
・令和3年10月1日現在の県の総人口（推計）は、1,409,157人で、市町別にみると、大津市の342,584人が最も多く、次いで草津市（144,543人）、長浜市（113,079人）の順が多い。（図16）

・可住地面積（令和元年度）1km²当たり市町別人口密度は、草津市が最も高く、次いで大津市、栗東市の順で高い。（図17）

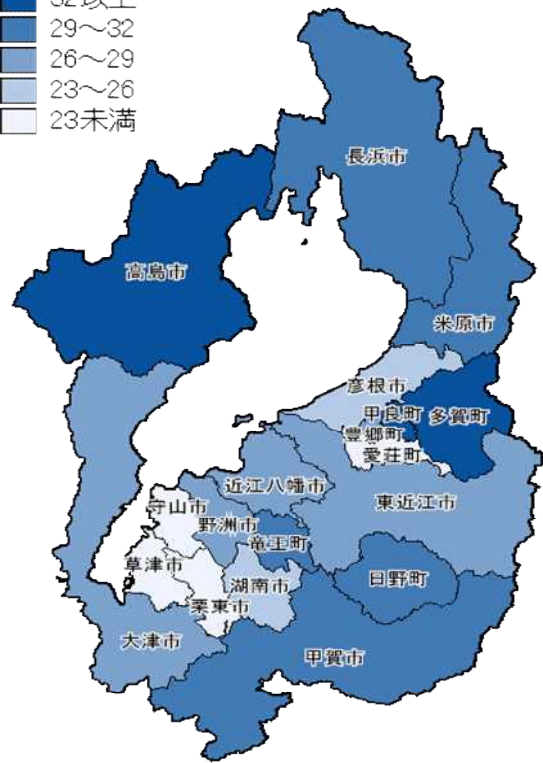
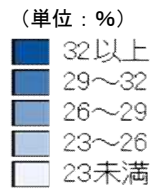
・県内の15歳未満の年少人口は約19万2千人で総人口の13.9%、15～64歳の生産年齢人口は約82万4千人で総人口の59.7%、65歳以上の老年人口は約36万4千人で総人口の26.4%である。（総人口には年齢不詳の人数を含んでいない）（図18）

■年齢3区分別人口構成比（市町別）

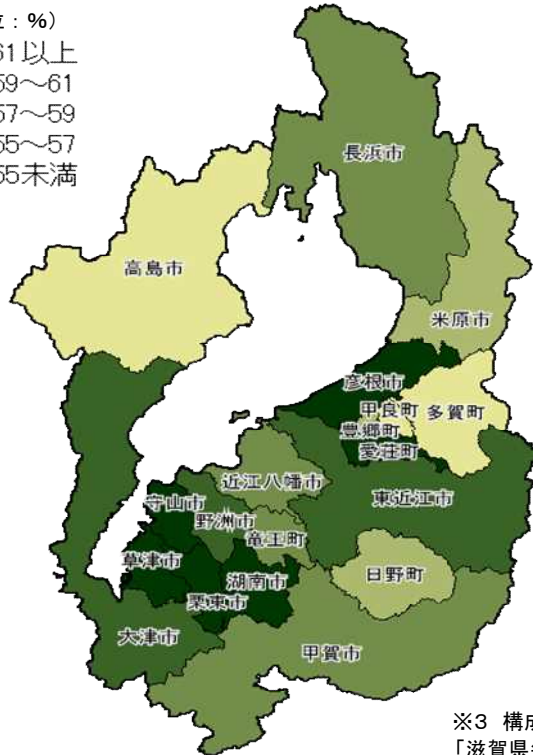
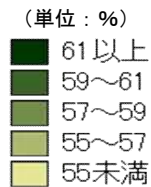
【図19】年少人口（15歳未満）



【図20】老年人口（65歳以上）



【図21】生産年齢人口（15～64歳）

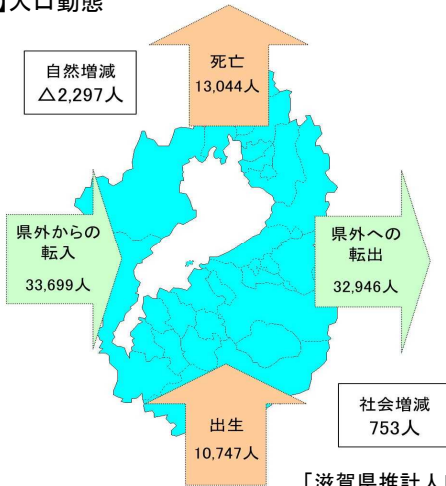


※3 構成比は年齢不詳を除いて算出しています。
「滋賀県毎月推計人口」県統計課（令和3年10月1日現在）

- ・年少人口割合を市町別にみると、守山市が16.3%で最も高く、高島市が10.7%で最も低い。（図19）
- ・老年人口割合は高島市が36.8%で最も高く、栗東市が19.1%で最も低い。（図20）
- ・生産年齢人口割合は栗東市が64.7%で最も高く、多賀町が51.3%で最も低い。（図21）

■人口の動き（人口動態）

【図22】人口動態



「滋賀県推計人口年報」県統計課（令和元年10月1日～令和2年9月30日）

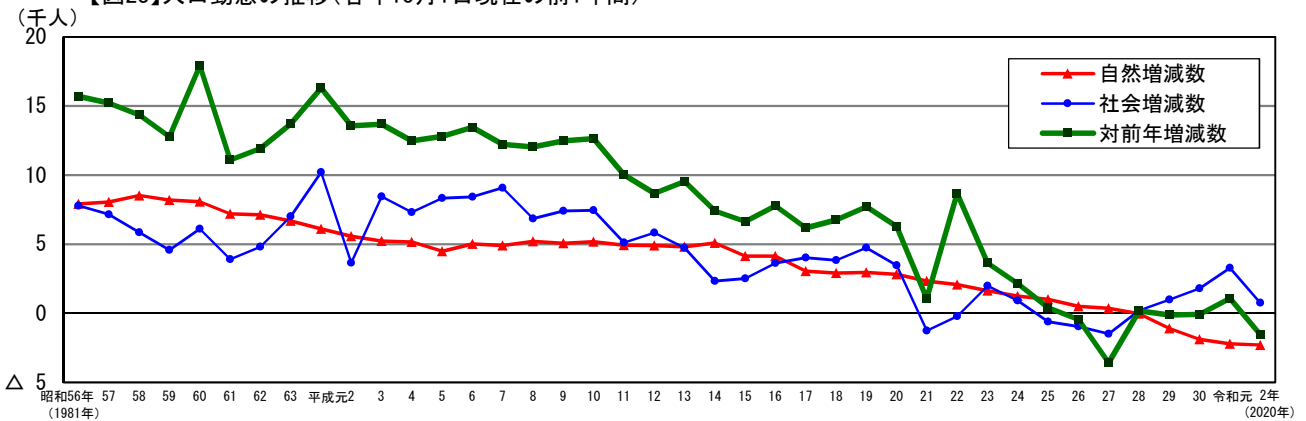
くらしの数字

滋賀県の1日（全国の1日）

出生数 28.5人（2,297.4人）
 死亡数 35.6人（3,750.7人）
 婚姻件数 16.1件（1,435.8件）
 離婚件数 5.6件（528.0件）

「人口動態統計」厚生労働省
 （令和2年1月1日～令和2年12月31日）

【図23】人口動態の推移（各年10月1日現在の前1年間）

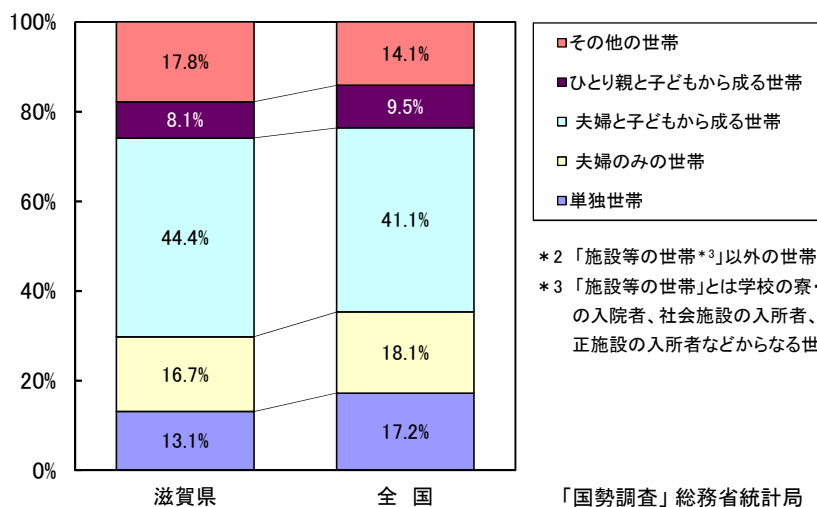


※4 国勢調査年は、同調査の人口を用いるため、対前年増減数は、自然増減数と社会増減数の合計とは一致しない。

「滋賀県推計人口年報」県統計課

■世帯の家族類型

【図24】一般世帯*2の家族類型別割合（令和2年10月1日現在）



*2 「施設等の世帯*3」以外の世帯
 *3 「施設等の世帯」とは学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者、自衛隊の営舎内・艦船内の居住者、矯正施設の入所者などからなる世帯をいう。

「国勢調査」総務省統計局

・令和元年10月1日～令和2年9月30日の出生数は死亡数を下回り、自然増減数は△2,297人となった。県外からの転入人口が県外への転出人口を上回り、社会増減数は753人となった。（図22）（図23）

・令和2年国勢調査では、一般世帯のうち69.2%（全国68.7%）が核家族世帯となっている。（図24）